



女子大学院生から寄せられた  
女性研究者に聞いてみたいこと、相談したいことなどを  
医師で医学研究院教授の樗木(ちしゃき)晶子先生に聞きました。

▼医学研究院  
ちしゃ き あき こ  
**樗木 晶子** 総長特別補佐・教授

**Profile**  
福岡県立筑紫丘高等学校、九州大学医学部医学科卒業。九州大学医学部附属病院循環器内科研修医、米国メイヨークリニック訪問研究員、九州大学大学院医学研究科博士課程修了、学位取得。九州大学医学部附属病院助手、同講師、九州大学医学部保健学科助教授、同教授。きらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長、九州大学男女共同参画推進室副室長(総長特別補佐)を兼ねる。

おしえて!!  
ちしゃき先生

まずはちしゃき先生のことをおしえてください。

Q01 いろいろなお顔をおもちのちしゃき先生ですが、今のお仕事内容をお聞かせください。

医学研究院教授(医師/研究者)としてのちしゃき先生:比率でいうと、教育30%、大学運営30%、診療20%、研究は20%です。なかでも、特に楽しいのは学生教育です。  
総長特別補佐(男女共同参画担当)としてのちしゃき先生:自分自身も子どもを育ててきた普通のおばさん目線で、「九大の男女共同参画」を変えていければと思っています。  
きらめきプロジェクト(※)キャリア支援センター副センター長としてのちしゃき先生:平成19年にスタートしたプロジェクトで、6年が経ち、周囲の理解も深まったと思います。  
切実な人々への支援ですので、責任を持って、具体的な問題がひとつひとつ解決できるよう取り組んでいます。  
(※)九州大病院きらめきプロジェクト…さまざまな事情で常勤職の継続が困難な医師・歯科医師のキャリアの継続をサポートする取組み



Q02 医師/研究者を志したきっかけがあればおしえてください。

本当は建築家、もっというと宮大工になりたいと思っていました。しかし、当時女性が建築家を目指すのは一般的ではなく、高校の担任の先生から医師になることを強く勧められて、九大医学部の試験を受けました。



Q03 ところで、今朝は何を召し上がりましたか。

炊きたての白ごはん・お味噌汁・お漬物を食べました。  
炊きたての白ごはんがあれば、幸せです。

Q04 「ごほうびごはん」「おもいでごはん」(P.34参照)があれば聞かせてください。

ごほうびはやっぱり白ごはんですね。入試前など子どもへの「応援ごはん」には、かつ井とレンコンのきんぴらを作ります。

Q05 尊敬する人はいますか。

中学校の担任で古文の先生です。授業のレベルが高く、とにかく面白かった。私が高校に入る頃に病気で急逝されたのですが、亡くなる間際まで入院中の先生のもとに通いつめて、人生についていろいろと教わりました。今になって思えば、医者として、体を治すだけではなく、患者さんの心も見る…人の命と向き合う上で大事なことを教えてくださった恩師です。



ここからは女子大学院生から寄せられた質問です。

Q06 研究者になるために必要なことはありますか。

理系であれば、基礎的な研究での自分にしかないテクニックでしょうか。あとは忍耐かな。

Q07 英語力は必要ですか。

最低限の英語力は必要ですね。文法的な間違いのない文章が書ける程度は。若いうちから始める方がいいと思います。大学院生くらいまでの間に基礎をしっかり身につけましょう。

Q08 研究者になって良かったと思うことはどんなことですか。

新しい結果を得ること。研究者としての好奇心を満たされる時です。

Q09 研究者になってつらかったことはありますか。

若い時はデータや成果が出なかったこと。私たちの世代では、研究の世界は男性社会だったので、女性特有の大変さもありました。



Q10 男性の多い職場ではないかと思いますが、大変なことや苦労されたことはありますか。

男性同士の仲間社会という側面があったので、なかなか研究費などの情報が入ってこなかった。子どもが小さいと社交の場には行けないので、独身の女性でも踏み込めない領域もあったようです。ただ、これからはだんだんと変わっていくと思います。

Q11 学会などの研究発表のコツがあればおしえてください。

ポイントをつかんだ、分かりやすい発表を心がけて。欲張らず、シンプルに。エッセンスにしぼって伝えるようにしましょう。

Q12 夜眠れないときはどんな工夫をしていますか。

心配しなくても大丈夫。人間は必要な分は眠るものなので、寝付けなくてもいつか必ず眠れます。ちなみに私は3秒で寝付けます。

Q13 お休みの日は何をしていますか。

掃除・洗濯・買い物・庭の草むしりです。好きな家事は料理。料理は実際に似ているところがあります。得意料理は「おでん」です。



Q14 どんな本を読みますか。

リラックスしたい時には「鬼平犯科帳」を読みます。人情の機微と美味しいものが満載されているのが魅力です。

Q15 新聞やニュースはチェックしますか。

どんなに忙しくても、新聞の一面の見出しとコラムは毎晩寝る前にチェックしています。

Q16 好きな国はどこですか。

近頃訪れたところでは「モンゴル」。草原やモンゴル語などをどこか懐かしく感じました。

Q17 今の夢を聞かせてください。

小さな夢は「鬼平犯科帳」と「三国志」をじっくり読むこと。  
大きな夢は、女性がもっと自然に活躍できる社会になること。ヒエラルキー(ピラミッド型の段階的組織構造)のない、女性が女性たる姿で普通に活躍できる「真の男女共同参画」が実現できる社会になるといいですね。



Q18 次に職業を選ぶときは研究者(医師)を選びますか。

次こそは宮大工です。



Q19 最後に、この本を読んでいる未来の研究者にメッセージをお願いします。

明るく前向きに。くよくよしないのが一番です。

ちしゃき先生、ありがとうございました。

